



# 恒例の花火大会も

栗田公民館は7月22日、納涼夏祭りを日吉大神社境内で開催しました。新型コロナウイルス対策が5類移行となったことを受け、4年ぶりの本格的な開催となり屋台も復活。恒例の子供花火大会もあつて、境内は多くの住民であふれました。

(左ページに写真グラフ)

## 新型コロナウイルスやインフルエンザへの対応もあり、来場の住民にはマスク姿も目立ちましたが、お祭り気分は過去3年とは明らかに別物。寺島正旭公民館長の「諸課題を乗り越えた4年ぶりの本格的な納涼夏祭り」での盛り上がり、住民たちは梅雨明け当

りの夜を楽しみました。祭り気分には欠かせない屋台は綿あめ、ジュース、かき氷、チョコバナナ、フラックフルトソーセージ、焼き鳥、ビールと、子供も大人も楽しめる内容で、家族連れだけでなく、友達同士で来場した小中学生らにも大人気でした。

小学3年生、年中組園児

# 盛況だった納涼夏祭り 4年ぶりの本格的開催

後半の、育成会との共催の「子供花火を楽しむ会」も楽しみにしている住民たちが多く、今年も大盛況でした。

## 栗田の風景⑧

# 長野駅東口線

都市計画による拡幅と、それに伴う電線地中化工事により、長野駅東口から東口公園を経て長野赤十字病院を結ぶ長野駅東口線は幹線としての役割を一層強めています。同線沿線の景観も、昭和のころとは全く異なる姿に変ぼうしました。

かつて、同線沿線は農業試験場の水田など田園風景の中に、鉄道病院や中部電力の変電所などが点在していました。

さらに若里地区に入った同線は、信州大学工学部を



変ぼう著しい長野駅東口線

長野駅東口線の栗田エリア沿線には、近年マンションやホテル、ビジネスビル、レストラン、コンビニエンスストア、医院などが立地するとともに、新たに東口公園が整備されたこともあって、街区の景観は年々様変わりしています。